

長畑ひろのり News vol.128



(C) 2013 Kohama Studio

6月定例議会における一般質問

6月定例議会では4項目の質問をしました。その内の2項目を報告します。

・私道の適切な管理について

【長畑質問】私道の形態も千差万別。袋小路であって行き止まりのものなど、一般の人や車が通行しないものは今回の質問から除く。一般の人や車が通行し公道と何ら変わらない私道で、適切な管理も行われず荒れていけば、影響を受けるのは市民であり、シティ・プロモーションを推進していく上でマイナスなのは明らか。そこで私道を寄附する場合の基準は、

【行政答弁】基準については、四條畷市道路寄附申し込みに関する内規において定め、3つの条件がある。まず、本市認定道路に接している道路で、建築基準法に規定されているなど公共性の高いこと。次に、アスファルト舗装であることや側溝等の排水施設が整備されていることなど、市で一定の基準を設けそれを満たしていること。最後に、境界が明確であることや所有権以外の権利が設定されていないこと。

【長畑質問】先の条件を満たしている私道のうち、会社が倒産等で所有者が不明となった場合、私道に接する住民などから寄附の要請があった場合は対応できるのか。

【行政答弁】清算人等による所有権移転の可能性があれば、寄附の受付は可能な場合もあるが、登記簿上、清算終了したものなどは手続き上で困難であると考えている。

【長畑質問】寄附は困難であるとのことだが、その私道の損傷が激しい場合はどのような対応が考えられるのか。

【行政答弁】原則、土地所有者により修繕等の対策を講じていただく必要がある。しかしながら、所有者が不明、不在等により対応できず、放置することにより通行者の危険を伴うような緊急性が高いと判断される事案については、市民の安心安全確保の観点より、道路管理者の立場でなく道路行政として柔軟な対応に努める。

【長畑要望】課題が多いことは理解できる。今後は道路の老朽化に伴い、多様な問題が発生することは容易に想定される。現状に満足することなく、先進的な取組み等を調査研究して頂き、その結果、対応出来ないケースもあると思うが、将来のまちづくりに繋がるよう努めて頂くことを要望する。

・四條畷市総合公園の利用について

【長畑質問】本市の予算で維持管理をしている以上、市内在住の方にとって優遇措置をされてしかるべき。そこで、多くの議員が要望している駐車場使用料、私も前回の2月議会で改めて要望したが、それについての検討結果は。

【行政答弁】現段階でなく、民間企業の自由な提案による、今後のマーケットサウンディングの結果を持って検討する。

【長畑質問】野球の試合や練習ができる多目的広場の8月分を予約しようにも、すでに8日間ある土日の5日が埋まっている状態。その埋まっている内容は。

【行政答弁】軟式野球夏季大会及び硬式野球大会開催のため、優先予約にて押さえている。

【長畑質問】そうであるならば理解する。では残り3日間しかない土日、抽選の詳細な内容は。

【行政答弁】市内3団体、市外5団体が申し込みに来られ、抽選にて、市内1団体、市外2団体の予約が決定した。

【長畑質問】市内3団体でなければ良いと思う。もっと市内団体には優遇措置を設けるべきだと思うが。

【行政答弁】貸出時間帯の全てが埋まっていない現況下、特段の優遇措置を設けるか否かについては検討が必要と考える。

【長畑質問】予約方法だが、先の例で言えば8月分を予約するのに、平日（6月1日金曜日9時30分）に来庁し抽選が必要。近隣市を調べると、家庭のパソコンや携帯電話から、インターネットで公共施設の空き状況の確認や予約の申し込みができる。この点についてはどう考えるか。

【行政答弁】従前から費用対効果を踏まえ導入の可否を検討してきた経過があり、今年度からは庁内関係課で組む検討委員会を立ち上げ、市民の利便性に加え職員の生産性向上の観点を盛り込み、改めての議論を始めたところ。そのような過程において、市内団体予約優先は使用率向上を第一に検討すべきで、システムの導入有無に関わらず組上にあげ整理する。

【長畑要望】利用料については優遇措置をされているが、それを受けようにも、施設の利用がままならない。この点において、他市との差別化をはかって頂くことを要望する。そして、予約についてもアナログな仕組みではなく、ネットでの予約システムを調査研究した上で、早急に導入を進めて頂くことを要望する。

毎月発行している“長畑ひろのりNews”を、約半年ごとに送っています。送付の必要な方は、送付先をFAXもしくはe-mailにてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280
e-mail sky@nagahata.jp

<http://nagahata.jp>



町立四條畷病院について

市民の方とお話をしている気づいたのですが、四條畷病院があったの知らない方が多いということです。そこで、少しでも本市の歴史を知って頂きたく、2009年9月に発行した長畑ひろのり News vol.027 より改めて以下に報告させていただきます。内容については、当時のままとしています。



町立四條畷病院

先月1日の産経新聞に、市立貝塚病院・市立泉佐野病院・阪南市立病院・府立泉州救命救急センターの公立4病院が、将来的な経営統合に向け合意に達したと載っていました。このことにより「地域医療再生臨時特例交付金」100億円の獲得を目指すそうです。この様に、自治体が経営しているほとんどの病院は経営が苦しく、本市も病院を経営していれば問題を抱えていたでしょう。

しかし、四條畷市史にすら関連する記事は載っていませんので仕方ないのかも知れませんが、本市にも町立病院は存在しました。但し、町立病院として存在したのは、わずか18ヶ月間(国民健康保険・・・を除く)ととても短い期間です。

| | |
|------------|---|
| 昭和7年4月1日 | 甲可村改め四條畷村が発足 |
| 昭和22年7月1日 | 四條畷町が誕生 |
| 昭和27年 | 「国民健康保険直営診療所」を開設 場所は、以前の山内医院 |
| 昭和28年4月1日 | 「国民健康保険直営診療所」を新築 場所は、現在の松吉医院 |
| 昭和29年4月1日 | 「国民健康保険直営病院」に名称変更 |
| 昭和30年1月 | 「国民健康保険直営病院」を全焼 |
| 昭和31年 | 「国民健康保険直営病院」を再建築 (漏電が原因で全焼しましたが、すぐに火災保険が適用され新病院が建ったそうです) |
| 昭和38年4月1日 | 「国民健康保険四條畷病院」に名称変更 |
| 昭和41年4月1日 | 「町立四條畷病院」に名称変更 |
| 昭和42年10月1日 | 「町立四條畷病院」を廃止 |
| 昭和45年7月1日 | 四條畷市が誕生 |

では、土地開発公社が必要であったと思います。しかしバブル崩壊により、その後に残った土地は「塩漬け土地」と呼ばれ、処理に悩まされ続けている自治体も未だにあるのが実情です。

府内市町村なんでもランキング

前号からの続きで、今号では住民1人あたりの「将来にわたる実質的な財政負担」の大阪府内における順位で、下の表に示しました。

本市は地方債残高の減少と財政調整基金の積立による基金残高の増加などの要因により、前年の17位から20位に変動しており、府内ではほぼ真ん中に位置しています。

近隣市では交野市が目立ち、その額は約50万円为本市の約1.8倍です。理由は、土地開発公社保有量と考えます。表に示していませんが、その住民1人あたりの額は交野市が府内1位なのです。

現在も土地開発公社が土地を保有しているのは、大阪市を除く府内41市町村の中で13自治体しかありません。本市も既に土地開発公社が保有する土地は、忍ヶ丘駅前タイムズの土地を最後に全て市が買い取った上で清算済みとしており、土地開発公社自体も解散しています。

ちなみに土地開発公社とは、日本総研のコラムにわかりやすく書かれていましたので引用しますと「地方自治体が必要とする土地を先行的に取得する目的で設立された公社であり、その役割は、近い将来自治体が必要とする土地を自治体の代わりに取得し、実際に必要になった時点で、取得時の価格に取得後の経費や金利を上乗せして自治体に売却するというものである。」

土地開発公社が先行的に土地を取得することで、議会の議決等を経ずに、地価が安価な時に機動的に土地が取得できるというメリットがあった。」

土地が常に値上がりする時代

将来にわたる実質的な財政負担

| 順位 | 団体名 | 地方債+債務負担-積立金 |
|----|-------|--------------|
| 01 | 泉佐野市 | 807,501 |
| 02 | 高石市 | 566,802 |
| 03 | 交野市 | 495,085 |
| 04 | 忠岡町 | 492,916 |
| 05 | 泉南市 | 450,036 |
| 06 | 門真市 | 428,755 |
| 07 | 岬町 | 427,734 |
| 08 | 守口市 | 417,333 |
| 09 | 泉大津市 | 415,267 |
| 10 | 東大阪市 | 410,479 |
| 11 | 能勢町 | 382,185 |
| 12 | 岸和田市 | 367,560 |
| 13 | 松原市 | 355,493 |
| 14 | 八尾市 | 347,249 |
| 15 | 阪南市 | 315,175 |
| 16 | 羽曳野市 | 311,843 |
| 17 | 貝塚市 | 311,063 |
| 18 | 和泉市 | 284,521 |
| 19 | 河南町 | 283,466 |
| 20 | 四條畷市 | 274,312 |
| 21 | 柏原市 | 273,726 |
| 22 | 河内長野市 | 271,198 |
| 23 | 島本町 | 267,972 |
| 24 | 池田市 | 267,393 |
| 25 | 大阪狭山市 | 256,813 |
| 26 | 枚方市 | 254,965 |
| 27 | 藤井寺市 | 232,258 |
| 28 | 寝屋川市 | 227,411 |
| 29 | 富田林市 | 225,164 |
| 30 | 千早赤阪村 | 214,994 |
| 31 | 豊中市 | 214,888 |
| 32 | 大東市 | 211,345 |
| 33 | 箕面市 | 192,331 |
| 34 | 摂津市 | 180,002 |
| 35 | 吹田市 | 157,022 |
| 36 | 茨木市 | 155,455 |
| 37 | 熊取町 | 137,081 |
| 38 | 豊能町 | 136,525 |
| 39 | 太子町 | 127,783 |
| 40 | 高槻市 | 89,365 |
| 41 | 田尻町 | △771,192 |

